

2004
北中、10/4(朝刊)
白山トンネル関係

2004①
10/4
10/9

白山「小松白川連絡道路」 建設反対署名 全国1143団体

国交相に提出へ

白山系を通過して石川と岐阜を結ぶ「小松白川連絡道路」の建設に反対する団体署名が、全国から計千四百四十三件集まった。
呼び掛けた石川県内の特定非営利活動法人(NPO法人)「白山の自然を考える会」は八日、環境保護の観点から計画中止を求める要望書と「結」に国土交通相あてて提出する。
署名は地元石川県をはじめ四十七都道府県から集まり、とりわけ各種団体の本部が置かれた東京都や自然保護活動の活発な北海道からの協力が目立った。
「無駄な道路をこれ以上造る必要はない」など激励の声が多く寄せられたという。
各地からの支援に、同会の加藤正現事務局長は「同じ公共費用を掛けるなら、白山の自然文化遺産を守ることに使ってほしい。全国から届いた力強い声を、国に伝えたい」と話している。
連絡道路は白山系を分断されている国道360号の代わりに、石川県小松市の北陸自動車道と岐阜県白川村の東海北陸自動車道をつなぐ。
延長約五十キロの地域高規格道路として両県が計画し、白山を貫く通称「加賀飛騨トンネル」は延長二十キロ前後となる見通し。整備に向け国が一

九九五年から調査を続けている。
白山トンネル
中止の要望書
「考える会」国へ提出
加賀地方と岐阜県を結ぶ「白山トンネル」に反対する住民グループ「白山の自然を考える会」は八日、計画中止を求める要望書を国土交通省に提出した。全国一、四三三団体から集めた賛同の署名を添え、「絶滅危惧種のイヌワシなど多種多様な動植物の生態系を危機的な状況に追いやる」と訴えた。
県によると、北陸道小松インターと東海北陸道の白川郷インターを結ぶ約50キロの道路でトンネルは10、20キロ。県は95年からルートや効果の調査を続け、04年度も2300万円の調査費を予算に計上した。同区間にはすでに白山スノーパーク林道があり、要望書は「環境に負荷を与えるばかりでなく、社会資本としても過剰で無駄な道路」と指摘した。

2004/10/9(土)朝刊
白山トンネル
計画中止、国交省に要望
「考える会」は「多様な自然環境と文化遺産はかけがえのない資源。本当に魅力ある観光地には少々交通の便が悪くても、必ず人は来る。目先の利便性にとらわれるのではなく、長い目で見た観光地づくりに取り組む必要がある」と主張している。【関野正】

反対の署名提出

NPO法人が国交省に

白山を貫くトンネル計画、地域経済への効果を図る小松白川連絡道路の建設に反対する特定非営利活動法人(NPO)法を認識しており総合的に「白山の自然を考える会(石野洋理事長)」の加藤正現事務局長は八日、東京・霞が関の国土交通省を訪れ、全国の千四百四十三団体から集まった反対署名と、計画中止を求める北側一雄国交相あてての要望書を提出した。
加藤事務局長は「白山は貴重な財産。署名の各団体には大勢の会員がいることを考えてほしい」と強調。菊池課長補佐は「全国の声を北陸地方整備局にも伝える」とした。要望には民主党の奥田建、佐藤謙一郎両衆議院議員が同行した。

計画中止、国交省に要望

生態系に影響と

石川県小松市、岐阜県白川村間約50キロを結ぶ地域高規格道路「小松白川連絡道路」と、同道路のうち白山の下を通る「加賀飛騨トンネル(白山トンネル)」について、NPO法人「白山の自然を考える会」(石野洋理事長)が「環境に負荷を与える上、社会資本としても過剰でむだな道路」とも過剰でむだな道路と

計画中止求め署名提出

反対NPOが国交省に

白山北側を貫くトンネル計画がある小松白川連絡道路建設に反対するNPO(特定非営利活動)法人・白山の自然を考える会(石野洋理事長)の加藤正現事務局長は八日、東京・霞が関の国土交通省を訪れ、全国四千七百四十三の環境団体などから集めた反対署名を提出し計画中止を求めた。
署名を受け取った国土交通省経済産業局の菊池雅彦課長補佐は「もう少し調査の必要がある。賛成、反対の両方の意見があることは認識してお

加賀・飛騨道路建設促進アピール

小松商議所がビデオ

小松商工会議所が完成させ、公開した。行政主導ではなく経済界が知恵を出し合い、夢の「加賀・飛騨道路」(小松と岐阜を結ぶ)の建設を促進するビデオを、長は「できるだけ多くの人に届けていただき、早期開通へ弾みをつけたい」と期待している。
加賀・飛騨道路は、小松と岐阜県白川村を結ぶ約五十キロの地域高規格道路として建設計画がある。石川・岐阜県を結ぶ国道360号は県境部が未供用。白山スノーパークでは冬期間は通行不能となり、地域交流を進める上で障壁となっている。
「こうした諸問題を解決しよう」と、委員会では各自自治体に働きかけてきたが、財政難などで開通に向けた取り組みに消極的

促進会議を設立し、道路の早期建設を国などに働きかける。(松瀬晴行)

系を失う一歩を反対の主な理由にあげた。
要望後、会見した同会メンバーの渡辺満金次市議員や山田博子理事らは、全国で計画中止を含め検討し白紙に戻した例が二、三件あることに触れ、「延々と調査を続けるの

2

10/16
2
10/18

小松白川連絡道路建設 一丸で早期実現を 推進会議 設立総会

小松市と岐阜県白川村を結ぶ高規格道路として建設計画がある「小松白川連絡道路」の早期実現を目指し、南加賀の経済界を中心とした「加賀・飛騨道路の建設推進会議」が十六日、設立された。小松商工会議所であった設立総会には約百八十人が出席。来賓であり、さつした森喜朗前首相は「地域経済の存亡をかけた道路になるの思いを感した」と、道路建設の必要性を強調した。

石川小松市と岐阜県をかけた道路になるの思いを感した」と、道路建設の必要性を強調した。「小松白川連絡道路」の早期実現を目指し、南加賀の経済界を中心とした「加賀・飛騨道路の建設推進会議」が十六日、設立された。建設推進会議は野々市以南の三商議所と三商工会、観光協会などで構成今後、国への陳情や連絡調整など活動を本格化させる。会議の会長には小松商議所の加納實(0号は県境部が未供用。交流の障壁になつてい

加賀・飛騨道路 一丸で 早期実現へ 建設推進会議を設立

総会には一川保夫衆院議員、森喜朗前首相、大村哲夫局長のほか、白川村の谷口尚村長も出席した。建設推進会議は野

石川小松市と岐阜県をかけた道路になるの思いを感した」と、道路建設の必要性を強調した。「小松白川連絡道路」の早期実現を目指し、南加賀の経済界を中心とした「加賀・飛騨道路の建設推進会議」が十六日、設立された。建設推進会議は野々市以南の三商議所と三商工会、観光協会などで構成今後、国への陳情や連絡調整など早期建設を目標とした活動を本格化させる。

延長約五十キロ。建設促進会議では、完成すれば所要時間は現在より一時間以上短縮され約二十分になると試算している。一方、建設に反対するNPO法人(特定非営利活動法人)「白山の自然を守る会」(石野洋理事長)は、国土交通省に全国から寄せられた反対署名を提出している。この日の総会で森前首相は「いろんな意見があつて良い」と話した後、署名提出に同行した奥田建策院議員に対しては「国会議員が反対するのはいかなものか」と苦言を呈した。(松瀬晴行)

10/16(日) 朝 小松白川道路 計画見直しを 金沢街頭で訴える

小松市と岐阜県白川村を結ぶ高規格道路として建設計画がある「小松白川連絡道路」に反対するNPO法人(特定非営利活動法人)「白山の自然を

考える会(石野洋理事)はわづか二十分で費用対効果が見込めない「絶滅危う種」のイヌワシなど貴重な生態系を失つ「などを反対の主な理由に挙げている。「まずはこの計画を知ってもらいたい」とチラシを通行人に手渡した。(小室亜希子)